

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報は厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1
電話：03-3541-5151（代表）
担当者の所属・氏名 消化器内科 中村 健二

【研究責任者】

聖路加国際病院 消化器内科 中村 健二

超音波内視鏡下穿刺吸引生検法(内視鏡で胃や膵臓などの組織を取る検査)の診断率に及ぼす因子の検討に関する研究

1. 研究の対象

- ・当施設において、2012年4月から2018年3月までに超音波内視鏡下穿刺吸引生検法をお受けになられた患者さん。

2. 研究の目的・方法

- ・超音波内視鏡下穿刺吸引生検法は、本邦において2010年に保険収載され施行されています。
- ・超音波内視鏡下穿刺吸引生検法は診断率90%前後と報告されています。さらなる診断率向上に、穿刺針(太さや形状)、穿刺方法(回数や吸引法、吸引圧)、病理検体の処理方法などの取り組みが行われています。また、穿刺部位や病気による診断率の相違など、超音波内視鏡下穿刺吸引生検法の診断率に及ぼす影響は色々な要因がございます。
- ・今回、当施設で超音波内視鏡下穿刺吸引生検法をお受けになられた患者さんの治療成績や患者さんの背景からの診断率に及ぼす因子と、その重み付けを検討する研究を立案しております。
- ・なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録(カルテ)に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2022年12月31日までの予定です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・カルテ番号、年齢、性別、併存疾患、既往歴、薬剤服用歴、内視鏡所見、病理所見、血液検査所見などを収集・評価させていただきます。